

5. 東日本大震災復興支援

* 震災直後の支援活動

・ 東日本大震災義援金集め、寄付活動

・ パシイワ各国からの贈答品の受領・配布

・ バザーでの支援活動：被災地応援販売

* 東日本大震災復興支援プロジェクトに参加

(壊滅的被害を受けた生産者をオーナー制度を通して支援するプロジェクト)

・ うらと海の子再生プロジェクト

・ 三陸牡蠣復興支援プロジェクト

・ 栃木を食べようがんばろう東日本プロジェクト

* 支援継続方法を模索

・ 農村と都市の女性の協力・連携 (CSW56)

東日本大震災義援金集め、寄付活動

- * 日本パシイワでは、東日本大震災義援金を集め、寄付。
- ・あしなが育英会の遺児への一時金・奨学金に。
- ・パシイワの事務所が在る杉並区が南相馬市と「災害時相互援助協定」を締結しており、同市の被災者支援をしているので、杉並区を通して南相馬市へ寄付
- ・プランジャパンへの活動支援



会計の藤丸さん 長谷川副会長



パシイワ各国からの支援品の受領・配布



Warm rugs from PPSEAWA Australia,
Two joint packages arrived at Backes'
from Mary Cabrera with a message,
saying:

Following the tsunami in Banda
Aceh we made a commitment to
stockpile quilts/rugs as an ongoing
project, to assist those who
have been affected by natural
disasters.



気仙沼市唐桑町の仮設住宅に住む高齢者の方々に
オーストラリア会員の手作りのラグを届けた。



うらと海の子再生プロジェクト

カキ養殖の島復興へ「一口オーナー」すでに3300口

5月11日時点

2011年5月11日 12時34分



宮城県塩釜市の松島湾に浮かぶ桂島は、津波で大半の住宅や漁具が滅された。島を交えたノリやカキの養殖は再開できるのか。漁師たちは、震災直前に島に移り住んだ青年の発案に沿って、復興へ

うらと海の子再生プロジェクト情報
(<http://www.urato-uminoko.jp/>)

【お知らせ】支援者様数、お申込み口数
只今お申込みを頂いている支援者様数は、
お申込み者数:10,500人
お申込み口数:16,500口 (6月10日時点)

小泉さん
うらと海の子再生プロジェクト事務局
H23.6.10

で住宅
が滅失

ットや
は現物

出身で
漁師を

目指していた。

桂島を所管する県漁業協同組合塩釜市瀬戸支所の運営委員長・千原真澄さん(88)に加入できるよう頼んだのは今年1月。「いつまでい
るか分からない」「どんな人なのか」と否定的な組合員を、島の後継者不在を心配した千原さんが「この島を終わりにするのか」と説得した。
そして島外初の組合員となった。

小泉さんの提案について、住民は最初は半信半疑だった。しかし、口コミやテレビで取り組みが知られると、問い合わせが全国から殺到。す
でに2200口以上が集まった。島の漁師は海に洗った種ガキの引き上げに乗り出し、被害を免れたノリ栽培施設は共同で使うことにした。所
業を決めたのは数人にとどまった。

「彼のアイデアが住民を元気つけた」、千原さんは笑顔を見せる。小泉さんは「多くの人に協力いただき、大変ありがたい。でもこれだけで満
足したら、お戻りちょうだいのはめを出ないし、漁業も発展しない」と気を引き締める。(上田 準)

7. 連携活動:

1) 国際婦人年連絡会: 36団体、8部会; 「政策方針参画」「労働」「家族・福祉」、「教育・マスメディア」、「環境」、「平和」、「憲法」「国際・開発」:

“男女共同参画社会の実現」「平和の維持」などの目的で各部会で学習を続け、政府・関係機関に要望。

国際活動は、主に国連関係で、人権委員会や国連第三委員会、CSWなどの文書を翻訳して配布・CSWに参加など。